

学校運営協議会会議録

学校名 杉並区立松溪中学校

記録者 渡邊 麗、佐藤 伸彦

開催日時	令和7年7月12日(土)13時30分～15時35分
開催場所	松溪中学校 校長室
出席者(委員)	小松校長、檜枝会長、恵羅職務代理、石井委員 目黒委員、飯島委員、菅野委員、佐藤委員
出席者(学校)	田崎副校長
傍聴者人数	3名(PTA役員)

会議内容(次第順)
【報告事項】 2. 会長より 3. 学校長より 4. 学校報告
【協議事項】 1. PTAの方々との意見交換会
主な意見
【報告事項】 2. 会長より ・本日午前中に関わった小学生向けの科学遊びは、参加者が低年齢化し教えることの難しさを感じました。また、先日読んだ本でAIの進歩の現状を知り、これからの教育の大変さを考えました。 3. 学校長より ・毎日のように教員の不祥事が話題となっており、保護者や地域の方々は松溪中は大丈夫かと心配されていると思います。文科省や東京都、杉並区も対応を具体化しており、盗撮の心配に対しては、学校内のチェックをするようになりました。教員に対しては、常日頃から子ども達への関わり方等を指導しており、研修会も繰り返し行っています。心配や気になることがあれば、伝えてほしいと思っています。学校には伝えにくいという場合は、学校外の相談窓口も広報しています。 ・学校に不審者が入り、教員が怪我をしたニュースもありました。区立の全中学校では、今年度中に校門にカギ設置の工事をするようになりました。今後は登下校時以外は門を閉めることになるので、ご理解ご協力をお願いします。 ・国は来年度の中学1年生から35人学級とすることを決めました。この地域は、児童生徒数が増えていく予想があり、松溪中も学級数が増えていく予想があります。 ・先日、松溪中の教員が自転車での通勤途中に事故にあいました。ヘルメットをしていましたが頭部、腕、足に怪我をしました。生徒にも自転車利用中のヘルメット着用の大切さを改めてアナウンスしていきます。 4. 学校報告(別紙資料参照)

【協議事項】

1. PTAの方々との意見交換

＊PTA役員5名と意見交換が行われ、地域で子育てしていくことの現状や課題について意見を交換することができました。

・保護者は働く人が年々増えており、PTA役員のなり手が減っていく現状があります。役員が集まる機会も減っています。PTAをなくさないよう、参加してくれた方が楽しさを感じてくれるように努めています。
・自分の子どもに手がかからなくなったら、子育てを支える役目をするようになってほしいです。地域での子育てを支えてくれる人が、つながっていく入口がPTAだと思います。PTA活動をしてくれる人が、達成感を持てるようにしたいと考えています。

・自分の経験から、子どもが小学校、中学校、高等学校と進んでいくうちに、だんだんと地域から離れていっていると感じています。保護者だけでなく、子ども達も地域のことを考えているかと寂しさを感じることもあります。中学生も高校生も、もっと地域のために参加できることがあれば良いと思います。子ども達が親になった時には、PTAにも参加するようになると思います。

・現在、地域のお祭りやイベントに生徒がお手伝いで参加してもらうことを進めています。しかし、イベントを開催する時期が中学生の定期試験の時期と重なり、生徒が参加できないことがありました。

・今年度は、松溪中の定期試験の時期が地域のイベントと重ならないようになりました。

・生徒が参加することで、忙しい先生方が休日の地域イベントに関わってもらうことには遠慮があります。

・児童館が地域と連携してイベントを開催した時は良かったと思います。参加する子どもの取りまとめを児童館がやってくれました。子ども達は自分に何か役割があると、喜んでやるし、楽しんでいます。

・何かをやりたい子から誘われて巻き込まれた子も、やってみると楽しさを感じています。

・イベントのお客さんとして参加では、ただ楽しかったで終わってしまいます。運営する活動は、子どもの成長につながると思います。

・昔のあそび市は、お手伝いでなく生徒会が主体で運営していました。しかし、コロナ禍でイベントができなくなった期間があったことでイベントを運営する経験がなくなり、これまで先輩がやってきたことを後輩が引き継ぐことがなくなりました。先生方も異動で引き継がれなくなったと思います。

・「生徒会がやりたい」から始まったイベントが、今の生徒は「生徒会だからやらなければならない」と思っているようです。

・教員の働き方改革を含めた学校の関わり方、開催場所の制限、PTAの関わり方等、それぞれ時代とともに変化しているので、地域でのイベント開催も柔軟に考えていく時期だと考えます。

・子どもも高齢者も地域で支えられなくなってきています。地域をもっと変えないといけないと思っています。

・この地域に引っ越して来た時期には、近所の川で花火大会を開催し、子どもも高齢者もみんな参加して盛り上がっていました。先生を巻き込まなくても、地域のつながりをつくっていくことを進めたいと思います。

・イベントでの子どもの声や区から許可を得て実施した花火大会にもクレームが入る現実があります。

・現在は日本全体に余裕がないと考えています。目に見える成果や効果が見えないと理解されないのは、余裕がないからだと思います。

・時代とともに学校が地域にできることとできないことも変化しています。学校の職員は数年で変わっていきますが、CS委員は任期が長いので地域で子育てに関わっている人と連携し、地域での子育てを進めていくことができると考えました。

＜意見交換後の委員からの感想＞

・地域と学校の想いが共通で話がしやすかったです。

・PTA役員の方々の地域での子育てに関する熱量や愛を感じました。

・PTAがなくなっている学校もあります。地元への愛と子ども達への愛を感じました。無理なく進められたらと思いました。

・私が住んでいる地域では、子供会がなくなったり、自治会がうまく機能しない事があつたりと、地域のつながりに課題を感じていましたが、地域を支える方々の熱意が感じられ良かったと思いました。

・お祭りやイベントで人のつながりをつくっていくことの話がたくさんできて良かったです。

次回の会議日程

日時	9月8日(月)16時00分から
会場	松溪中学校 校長室